

			追加・変更意見	追加○/削除×	対応確認済	確認済
1217		医薬品に特有な拒絶理由を列挙し、それを除き				
1218		患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる				
1219	患者情報の重要性	服薬指導に必要な患者情報を列挙できる				
1220		患者背景情報(コンプライアンス、経過、診療録、薬歴)などを把握できる				
1221		医師、看護師などとの情報の共有化の重要性を説明できる				
1222		患者接遇に際し、配慮しなければならない注意点を列挙できる				
1223	服薬指導入門	代表的な医薬品について、適切な服薬指導ができる				
1224		淋病的態度や患者の気持ちに気づく				
1225		患者背景に配慮した服薬指導ができる		×		
1226		代表的な薬剤に関する服薬指導の内容を適切に記録できる		×		
1227	事前学習のまとめ	総合実習	代表的な処方せん例の書き換えを行うことができる			
1227			初回インタビュー	○		
1228		疑義照会をシミュレートする		×		
1229		処方せん例に基づき、調剤調剤をシミュレートできる		×		
1230		処方せん例に基づき、調剤調剤をシミュレートできる		×		
1231		調剤された医薬品の性状を説明することができる		×		
1232		患者背景に配慮した服薬指導ができる		×		

病院実習						
1233	病院調剤を実践する	病院調剤業務の全体の流れ	患者の診療過程に同行し、その体験を通して診療システムを概説できる		×	○
1234			院内での患者情報の流れを図式化できる		×	○
1235			病院内に所属する医療スタッフの職種名を列挙し、その業務内容を相互に関連づけて説明できる		×	○
1236			生命に関わる職種であることを自覚し、ふさわしい態度で行動する		×	
1237			医療の担い手が守るべき倫理規範を説明できる		×	
1238			職務上知り得た情報について守秘義務を守る		×	
1239			薬剤部門を構成する各セクションの業務を体験し、その内容を相互に関連づけて説明できる		×	
1240			処方せん(外来、入院患者を含む)の受付から患者への医薬品交付、服薬指導に至るまでの流れを概説できる			
1241			病院薬剤師と薬局薬剤師の連携の重要性を説明できる	病院薬剤師と薬局薬剤師の連携のためのツールを概説できる	×	
1242		計数・計量調剤	処方せん(麻薬、注射剤を含む)の形式、種類および記載事項について説明できる			

			追加・変更意見	追加○/削除×	対応確認済	確認済
1243		処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量など)が整っているか確認できる				
1244		代表的な処方せんについて、処方内容が適正であるか判断できる				
1245		薬歴に基づき、処方内容が適正であるか判断できる				
1246		適切な疑義照会の実務を体験する		×		
1247		薬袋、薬札に記載すべき事項を列挙し、記入できる				
1248		処方せんの記載に従って正しく医薬品の取り扱えることができる		×		
1249		錠剤、カプセル剤の調剤調剤ができる		×		
1250		調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる				
1251		代表的な医薬品の剤形を列挙できる				
1252		代表的な医薬品を色・形・難別により識別できる		×		
1253		医薬品の識別に色、形などの外観が重要であることを、具体例を挙げて説明できる		×		
1254		代表的な医薬品の商品名と一般名を対比できる		×		○
1255		異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる		×		○
1256		毒薬、劇薬、麻薬、向精神薬などの調剤ができる		×		
1257		一回量・一回回数の必要性を判断し、実施できる				
1258		煎剤、水煎などの計量調剤ができる				
1259		調剤機器(秤量器、分注機)などの基本的な取扱ができる				
1260		細胞毒性のある医薬品の調剤について説明できる				
1261		特別な注意を要する医薬品(抗悪性腫瘍薬など)の取り扱いを体験できる		×		
1262		錠剤の割合、必要量、分注機の調剤の可否を判断し、実施できる				
1263		調剤された医薬品に対して、適宜の実務を体験する		×		
1264		患者向けの説明の重要性を理解して作成・交付できる				
1264	服薬指導		漢方薬独特の服用方法を注意を喚起することができる	○		
1265		患者に使用上の説明が必要な眼軟膏、坐剤、吸入剤などの取扱い方を説明できる				
1266		自己注射が承認されている代表的な医薬品を調剤し、その取扱い方を説明できる				

			追加・変更意見	追加○/削除×	対応確認済	対応済
1267		お薬受け渡し窓口において、薬剤の服用方法、保管方法および使用上の注意について適切に説明できる				
1268		注射剤の調剤に際して、調剤の注意点を適切に説明できる				
1269	注射剤調剤	注射剤調剤の流れを概説できる				
1270		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる		○		
1271		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる				
1272		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる		×		
1273		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる		×		
1274		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる		×		
1275		注射剤の配合変化に関する実施されている回避方法を列挙できる				
1276		調剤の注意点を適切に説明できる				
1277		細胞毒性のある注射剤の調剤について説明できる				
1278		特別な配慮を要する注射剤(抗癌性腫瘍薬など)の取扱いを説明できる	外来化学療法における抗がん剤のプロトコールとその適正使用の説明ができる	×		
1279		特別な配慮を要する注射剤(抗癌性腫瘍薬など)の取扱いを説明できる		×		
1280	安全対策	リスクマネージメントにおいて薬剤師が果たしている役割を説明できる	医療における安全(リスクマネージメント)に関連の重要な項目を列挙できる			
1281		調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる				
1282		商品名の綴り、発音あるいは外観が類似した代表的な医薬品を列挙できる	インシデント・アクシデント報告の項目を列挙できる。	×		
1283		医薬品に関する過失ある以上の過誤について、適切な対応方法を列挙できる		×		
1284		調剤事故、調剤過誤時の本人、家族への対応方法を列挙できる				
1285		調剤事故、調剤過誤時の本人、家族への対応方法を列挙できる				
1286		調剤事故、調剤過誤時の本人、家族への対応方法を列挙できる		×		
1287	医薬品を動かす・確保する	医薬品の管理・供給・保存	医薬品管理の流れを概説できる			

			追加・変更意見	追加○/削除×	対応確認済	対応済
1287			医薬品の経済管理について説明できる	○		
1288		医薬品の適正在庫の意義を説明できる				
1289		納品から使用までの医薬品の動きに係わる人達の仕事を学び、薬剤師業務と関連づけて説明できる		×		
1290		医薬品の品質に影響を与える因子と保存条件を説明できる				
1291		納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目を列挙できる		×		
1292		同一商品名の医薬品に異なった規格があるものについて具体例を列挙できる		×		
1293		院内における医薬品の供給方法について説明できる		×		
1294		精密なお薬の取扱い方法を説明できる		×		
1295	特別な配慮を要する医薬品	特別な配慮を要する医薬品の取扱いを説明できる	犯罪に悪用されるおそれのある医薬品や薬物を列挙できる	○		
1296		特別な配慮を要する医薬品の取扱いを説明できる		×		
1297		特別な配慮を要する医薬品の取扱いを説明できる		×		
1298		特別な配慮を要する医薬品の取扱いを説明できる		×		
1299	医薬品の採用・使用中止	医薬品の採用と使用中止の手続きを説明できる		×		
1300		代表的な同種・同効薬を列挙できる	代表的な同種・同効薬(ジェネリック医薬品を含む)を列挙できる			
1301	情報を正しく扱う	病院での医薬品情報	医薬品情報源のなかで、当該病院で使用しているものの種類と特徴を説明できる	×		
1302			院内への医薬品情報提供の手段、方法を概説できる			
1303			緊急安全性情報、不良品回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法について説明できる			
1304			患者、医療スタッフへの情報提供における留意点を列挙できる			
1305	情報の入手・評価・加工		医薬品の基本的な情報を、文献、MR(医薬情報担当者)などの様々な情報源から収集できる	×		
1306			医薬品の基本的な情報を、文献、MR(医薬情報担当者)などの様々な情報源から収集できる			
1307			医薬品の基本的な情報を、文献、MR(医薬情報担当者)などの様々な情報源から収集できる			